

2016年度 事業報告書[法人第4期]

(2016年10月1日～2017年9月30日)

1. 庶務報告

i) 会員数 (2017年9月30日現在)

正会員 1,695 / 名誉会員 13 / 顧問 35 / 賛助会員 15 (合計 1,758)

ii) 会議開催実績

2016年度 定例理事会

- 第1回 2016年10月3日 (AP品川 10階「F+Gルーム」)
- 第2回 2016年12月2日 (岡山コンベンションセンター 4階「405会議室」)
- 第3回 2016年12月3日 (岡山コンベンションセンター 4階「405会議室」)
- 第4回 2017年1月30日 (AP品川 9階「P+Qルーム」)
- 第5回 2017年6月23日 (AP品川 9階「P+Qルーム」)

第3回 定例幹事会

2016年12月2日 (岡山コンベンションセンター 4階「405会議室」)

第3回 定時社員総会・表彰式

2016年12月3日 (岡山コンベンションセンター 3階「コンベンションホール(第1会場 RoomA+B)」)

学会誌編集委員会

2016年12月2日 (岡山コンベンションセンター 4階「405会議室」)

第30回学術大会プログラム委員会

2016年12月2日 (岡山コンベンションセンター 4階「404会議室」)

梅毒委員会

2016年12月3日 (岡山コンベンションセンター 4階「405会議室」)

認定制度委員会

2017年7月30日 (AP品川 9階「Oルーム」)

2. 年次学術大会

日本性感染症学会 第29回学術大会

会 期: 2016年12月3日(土)～4日(日)

会 場: 岡山コンベンションセンター

会 長: 岸本 寿男 (岡山県環境健康保険センター 所長)

参加人数: 634名 (医師一般588、学生・院生・研修医25、招待21)

プログラム: IUSTI ジョイントシンポジウム、特別講演1題、教育講演2題、

シンポジウム5企画(うち2企画は卒後・生涯学習プログラムとして参加証は教育研修単位10単位)、

ランチョンセミナー5企画、認定士への集い、一般演題60題

閉会后開催: 第248回ICD講習会、市民公開講座

3. 学会誌「日本性感染症学会誌」発行

第27巻第2号: 2016年11月発行 (第29回学術大会抄録号: 第29回会長担当)

第28巻第1号: 2017年9月発行 (通常号: 学会誌編集委員会担当)

4. 各委員会活動

i) 学会誌編集委員会 (出口 隆 委員長)

委員会の開催 (2016年12月2日: 岡山コンベンションホール 4階「405会議室」)

日本性感染症学会誌 第28巻第1号発刊(電子版のみ)およびバックナンバー電子版アーカイブ化。

編集委託業者の変更 (第29巻第1号[2018]より「サンメッセ株式会社」→「株式会社国際文献社」へ変更)

ii) ガイドライン委員会 (清田 浩 委員長)

「性感染症 診断・治療ガイドライン2016(改訂版)」の公開に向けての編集作業を実施 (2017年11月公開)

- iii) 利益相反委員会(清田 浩 委員長)
COI 自己申告書提出対象者への提出依頼および回収の実施。
「医学研究の利益相反に関する指針」および「COI 自己申告書」の改定(2018年1月1日改定および施行予定)
- iv) 倫理委員会(本田 まりこ 委員長/高橋 聡 新委員長)
委員長の交代(本田まりこ 理事 → 高橋聡 理事)
倫理委員会規程の作成(2018年1月1日施行予定)
- v) 学術奨励賞選考委員会(三嶋 廣繁 委員長)
2016年度 学術奨励賞受賞者を以下2名とし、2017年12月2日 第4回定時社員総会の表彰式において賞状楯および副賞(15万円×2名)の目録を授与。
なお、副賞総額30万円のうち10万円は公益社団法人 性の健康医科学財団より寄附。
 - ・坂本 次郎(金沢大学附属病院 泌尿器科)
「陰茎癌におけるHPV感染の役割と発癌のメカニズムについての検討」
(日本性感染症学会誌 第28巻第1号 p85-91)
 - ・高本 大路(横浜市立大学附属市民総合医療センター 泌尿器・腎移植科)
「陰茎癌病理組織におけるHPV(human papillomavirus)感染関連細胞の臨床的検討」
(日本性感染症学会誌 第28巻第1号 p61-72)
- vi) 認定制度委員会(石地 尚興 委員長代行)
委員会の開催(2017年7月30日 AP品川 9階「0ルーム」)
認定試験の実施(2017年7月30日 AP品川 9階「Nルーム」)

2016年度認定医試験・認定士試験および更新申請書類審査結果

新規	認定医試験 受験者 10名 / 認定士試験 受験者 0名 (認定医受験者全員合格)
	[認定医] / [認定士]
更新	資格更新対象者————— 102名 / 12名
	更新申請書類 提出———— 92名 / 6名 (全員更新承認)
	更新延期願 提出————— 8名 / 2名 (全員更新延期承認)
	更新辞退————— 2名 / 0名
	資格喪失(未提出により)—— 0名 / 4名

 認定制度規則の改定
 更新申請の様式の改定
- vii) 梅毒委員会(石地 尚興 委員長)
委員会の開催(2016年12月3日:岡山コンベンションホール 4階「405会議室」)
学会における梅毒関連業務の対応
- viii) 教育啓発委員会(白井 千香 委員長)
公社)日本学校保健会「(教員向け)エイズ・性感染症に関する指導の手引き改訂」への協力
- ix) 国際渉外委員会(濱砂 良一 委員長)
会員へ IUSTI への入会勧奨メールの配信
関連国際学会との連携対応
- x) 会則検討委員会(高橋 聡 委員長)
定款および各規則の内容の精査および改定案の作成
- xi) 広報・ホームページ委員会(出口 隆 委員長)
学会ホームページにてマイページ機能および電子版学会誌バックナンバー掲載準備
- xii) 支部の在り方検討委員会(高橋 聡 委員長)
委員会の新設
支部運営の状況把握と見直しの検討

5. 関連学術団体との連絡・協力

- i) 日本性科学連合[JFS]
2017年10月14日 第18回日本性科学連合 性科学セミナー(岩室紳也 代議員 講演)
- ii) 健やか親子21推進協議会
2017年3月2日総会(野々山末希子 代議員 出席)
担当理事の交代(高橋聡 理事 → 川名敬 理事)
「子どもに対する保健指導パンフレット」原稿案作成

- iii) ICD 制度協議会
2016 年度 ICD 申請者 10 名 (2016 年 10 月末日提出締切)
2017 年度も 10 月末日提出締切とし、9 名分の申請書類を受付。
2016 年 12 月 4 日 第 248 回 ICD 講習会 (第 29 回学術大会終了後 同会場にて開催)
 - iv) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会
2017 年 4 月 28 日総会 (渡會睦子 代議員 出席)
 - v) 日本思春期学会
日本思春期学会との連携対応
2017 年 8 月 25 日～27 日 第 36 回日本思春期学会 総会・学術大会 (会長：齋藤 益子)
 - vi) 日本エイズ学会
合同シンポジウムの開催 (第 30 回日本エイズ学会 学術集会・総会[かごしま県民交流センター]にて)
日 時：2016 年 11 月 26 日 9:00-11:45
タイトル：日本性感染症学会 合同シンポジウム
テ ー マ：HIV と梅毒－梅毒の急増に対して、今何をすべきか
座 長：大西 真 (国立感染症研究所 細菌第一部)
高濱 宗一郎 (国立病院機構九州医療センター 免疫感染症科)
演 者：大西 真 (国立感染症研究所 細菌第一部)
齋藤 万寿吉 (東京医科大学 皮膚科)
西島 健 (国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
高濱 宗一郎 (国立病院機構九州医療センター 免疫感染症科)
- ※ 2017 年は日本性感染症学会 学術大会において合同シンポジウムを開催
※ 日本エイズ学会 学術集会・総会において合同シンポジウムの次回の開催予定は 2018 年の第 32 回にて開催

6. 各支部の活動

- 8 支部において、年 1 回支部総会を開催。
各支部の事務局情報は学会ホームページ参照。

7. その他

- 1) HSV 診断法に関する検討委員会(日本化学療法学会 合同委員会)
本学会から三嶋廣繁 理事、川名敬 理事の 2 名を委員へ推戴
- 2) 日本医学会
2017 年 7 月 28 日 加盟申請書類提出。(審査の結果は 2018 年 2 月開催の日本医学会 定例評議委員会において判明予定)
- 3) 性感染症に関する特定感染症予防指針に基づく対策の推進に関する研究
2016(平成 28)年度 総括・分担研究報告書の Web ページへのリンクを学会ホームページに掲載